


# 第2回 金沢・竹灯ろう祭り

能登の鎮魂と復興、世界平和を願って



# 荒廃地



## 豊麗者 (ほうれいしゃ)

高齢者を  
『人生を豊かに重ねた人々』  
と再定義

- 2016年 15区画の休耕地から始動
- 現在 180区画の市民農園
- コミュニティ サポーター約400名

# 活動内容：農・福・教の多世代連携

「みんなのお店」（委託販売所）  
多世代交流：芋煮会、タケノコ掘り

農

(Agriculture)



心の居場所：  
不登校児童・生徒への  
安心空間

福

(Welfare)

教

(Education)

COGY

あきらめない人の子供。



農福連携：足こぎ車いす『コギー』でのリハビリ



# 45,000

支援交流人数（延べ）

**災害支援：経験を力に、即座に行動**

- 発災直後に「のと支援物資センター」を開設
- 現地での炊き出し、チャリティーコンサート実施
- 阪神・東日本大震災の教訓と防災士の視点



第2回

# 金沢・竹灯ろう祭り

～能登の鎮魂と復興、世界平和を祈念して～

2025年10月18日(土)

14:00 - 20:00  
\*予備日 10月19日(日)



最新情報は  
こちら

2,000基  
の竹灯り

四十万きずな広場 金沢市四十万町北ヌ

\*車でお越しの際は裏面地図を参照ください 点灯ボランティア募集!

### 出演

志賀天友太鼓  
アントニオ・カマケ (パルー音楽)  
シンガーソングライター おだ ともあき



17時15分 点灯  
\*17時に会場へ集合

女川踊り流し / 女川に菜の花油の  
灯をともす会

うさぎ会 (篠笛)  
エレクーン大好き はるきん  
Melody Knot Quartet (JAZZ)  
笑いヨガ / 山外 政枝  
ジャグリング百万石



志賀天友太鼓



アントニオ・カマケ



おだ ともあき

### 共同主催

金沢国際ホテル  
額中学校 PTA 額小学校 PTA  
四十万小学校教育会  
四十万きずな町会 しじま町会  
額谷町会  
NPO 法人39アース  
NPO 法人みんなの畑の会

後援 石川県 金沢市  
北國新聞 北陸中日新聞



お問合せ NPO 法人みんなの畑の会 minnanohatake.nishida@gmail.com

ポイントリレー  
お楽しみ抽選券  
当日竹灯30分までに  
受付へ持参ください  
No.

### タイムテーブル

- 14:00 開会挨拶
- 14:30 音楽ステージ開始
- 17:00 来賓挨拶
- 17:15 竹灯ろう点灯宣言
- 17:30 音楽ステージ再開
- 20:00 閉会式



### マルシェ

- ・能登復興市 \*金沢大学ボラさぼ
- ・編みぐるみ小物販売
- ・和紙タオル販売 \* 萩オリケン
- ・ハンドメイド小物
- ・フェイクパフェづくり
- ・焼き菓子販売
- ・野菜、加工品販売
- ・「ツナグ」メンマ販売

### 竹のワークショップ

- 竹灯ろう
- 竹笛
- 竹のお猪口



竹で遊んでみよう!

- ◆ 水鉄砲的に当てよう!
- ◆ 竹に10秒乗れるかな?

### キッチンカーが多数やってくる!



私たちは子供たちに美しい地球を引き渡す義務がある  
なぜなら私たちが美しい地球を先人から引き継いだから

その思いから10年前 NPO 法人みんなの畑の会を設立しました。  
高齢化や後継者不足で増える放置竹林の整備活動を行い、金沢工業大学や石川県立大学と連携して獣害対策や環境保全に取り組んでいます。

竹林整備で伐採した竹は、農業用「竹ハウス」「竹ドーム」、土壌改良材の「ボラス竹炭」「竹パウダー」などに再利用し、全国への普及を進めています。

また、能登半島地震後には『能登支援物資センター』を立ち上げ延べ45,000人の被災者と交流し支援してきました。

第2回竹灯ろう祭りでは、能登の鎮魂と復興・世界平和を願い開催します。まつり使用後の竹は竹炭として再利用します。

みんなの畑の会は、石川県・金沢市の協力のもと、次世代へ環境をつなぐ活動を続けています。



竹ドーム



竹林整備作業風景 2025年7月



- ① インデアンカレー額谷店
- ② 国際ホテル(送迎バスあり)
- ③ 額中学校
- ④ 額公民館 ⑤みんなのお店

# 竹灯ろう祭りの「3つのねらい」

## 環境保全



放置竹林の整備

放置竹林の  
資源化・獣害対策

## 文化創造



新たな地域文化

## 復興祈願



能登の被災地へ  
届ける祈り



## 実施成果：2,000基の灯りが繋ぐ想い

10月18日（雨天決行）

- 地域住民と子供たちの協働製作
- 「自分たちの祭り」という誇りの醸成
- 悪天候を乗り越えた結束力













# 竹資源の高度利用：「竹ハウス」



豪雪による  
農業用ハウス倒壊



竹の「しなり」と「強さ」

低コスト & 高耐久  
里山保全（竹林整備）と雪害対策の一石二鳥

# 循環型農業の実践：ゴミを出さない祭り



# 課題と反省：持続可能性に向けて



**【資金】**  
継続的な運営資金  
の確保



**【安全】**  
雨天時・大規模イベント  
の管理体制強化



**【継承】**  
運営の高齢化と  
次世代へのバトンタッチ

# 市との協働：良かった点と課題点



良かった点：

森林再生課など専門部署との連携円滑化



課題点：

- より柔軟な予算運用の検討
- 事務手続きの簡素化
- 対話を重ね、より良い協働モデルの構築へ

# 今後の展望：石川・金沢モデル

Vision Circle  
竹資源活用  
×  
コミュニティ再生  
= 全国展開へ

防災農園としての機能強化

- ・カマド4基・井戸を完備
- ・有事の炊き出し拠点

20年後のふるさとの環境は、みんなで作る。

私たちの活動の原動力は、人の「輪と和」の繋がりです。  
NPO法人みんなの畑の会

次世代へ繋ぐ「和と輪」

「私たちは美しい地球を引き渡す義務がある」  
向こう三軒両隣の精神（日本版SDGs）